



学校だより

お つ ひ



半田市立乙川東小学校
第8号
令和2年12月4日
発行責任者：真山 恵

校訓 「たくましく心ゆたかに 大きくのびよう」

12月4日～10日は人権週間です



毎年12月4日～10日は、人権について考える人権週間です。人権週間に先立ち、11月30日の朝会では、ZOOMを使って人権について話をしました。

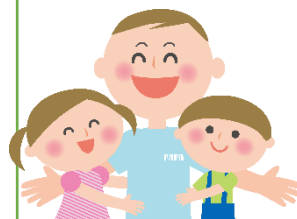
人権とは、「世界中のだれもが生まれながらにもっている自分らしく生きられる権利です。人権を守るとは、みんなが自分らしく笑顔で生きられるようにすることです。そのために、してはいけないこと、それは、「自分がされていやなことをしない、言わないこと」です。たとえば、だれかをばかにしたり、差別したり、仲間はずれにしたり、いじわるをしたり、いじめをしたりすることは、してはいけません。たとえ、いじめているつもりはなくても、一人の人に何度も悪口をいったり、しつこくいやがることをしたり、仲間はずれにしたりしたら、それはいじめです。いじめは絶対にしない、させない、見逃さない。みんなの力で、全ての子どもが大切にされるクラス、乙川東小学校にしていきたいですね。



そのために、大切なのは、「違いを認め合うこと」です。顔、性格、考え方、好きな物、自分とぜんぶ同じ人は、一人もいません。ちがいを認め合うために大切なことは、お互いのことをよく知ろうとすること、いいところを見つけようとするということです。（以下、省略）

私たちの身の回りには、今もたくさんの人権問題が存在します。人種、性別、障がい者、被差別部落、LGBT など、私たちの心の中のどこかに、知らず知らずのうちに人を差別する考えが潜んでいないでしょうか？ 普段、私たちが何気なく発している言葉の中に、人権を侵害する内容はないでしょうか？ 子どもたちの心を傷つけていないでしょうか？ 有名なアメリカインディアンのお話に、次のような言葉があります。

心が寛大な人の中で育った子は、がまん強くなります。
はげましを受けて育った子は、自信をもちます。
誉められる中で育った子は、いつも感謝することを知ります。
公明正大な中で育った子は、正義心をもちます。
人に認めてもらう中で育った子は、自分を大切にします。
仲間の愛の中で育った子は、世界に愛を見つけます。



「子どもは、親（大人）が言ったようには育たず、親（大人）がしたように育つ」と言われます。子どもたちが豊かな人権感覚を身に付けて育つために、まず子どもたちに接する私たち大人が、人権感覚を磨いていきたいものです。

表彰, おめでとうございます!

第 72 回赤い羽根協賛 児童生徒作品コンクール	書道の部	優秀賞	3 年 竹内 湊人
	ポスターの部	優秀賞	3 年 柏谷 帆南
第2回モトムカップ女子の部		第 1 位	HANDA HEROES 6 年 河井 真菜
半田市環境保全ポスターコンクール		優秀賞	1 年 野茂 愛弥乃
読書感想文半田地区コンクール	優 良	3 年 森田 健志朗	
	入 選	1 年 竹内 樹 2 年 三浦 隼杜 4 年 福原 風紗 6 年 福原 緩南	
令和 2 年度愛知県軟式野球連盟 知多中部学童部夏季大会		第 3 位	乙川東クラブ 6 年 新美 創万, 山田 善斗, 足立 暁, 杉浦 大夢, 矢澤 孝昌
第 1 9 回県軟野連半田支部長杯学童軟式野球大会		準優勝	5 年 加藤 大雅, 榊原 陸王, 新美 駈流, 杉浦 夢彩, 山下 力輝, 湯浅 侑真
第 1 回 U・9 横井杯少年サッカー大会		優 勝	半田サッカークラブ 3 年 中山 慶, 犬飼 真夏斗, 大谷 天優, 藤井 颯久, 保田 蓮, 佐藤 麗叶, 竹内 湊人, 間瀬 煌大

文化芸術体験で, 5・6年生が狂言の体験をしました。

11 月 26 日に, 5・6 年生が「狂言」の体験をしました。狂言は, 室町時代から今日まで約 650 年という長い間引き継がれてきた日本が誇るべき伝統文化です。

今年度, 文化庁の文化芸術による子供の育成事業(巡回講演事業)に応募して体験授業が実現しました。東京から和泉流狂言「三宅狂言会」のみなさんが遠路お越しいただきました。

事前(11 月 10 日)には, まずワークショップを行い, 謡(うたい)の発声法や動きについて直接指導をしていただきました。本公演の日, 体育館の舞台上が能楽堂さながらでした。

本公演では, 「盆山(ぼんやま)」と「附子(ぶす)」の狂言の舞台を鑑賞したり, ワークショップで覚えた「兎(うさぎ)」の謡を一緒に語ったりしました。

コトバと身振りだけで演ずる狂言には, 後の落語やお笑いにも通ずるおかしさ, おもしろさがあることも分かり, 5・6 年生は, 狂言の舞台を楽しんでいました。

